



1 学年通信

五所川原高校
令和5年8月号

2学期を迎えるにあたり「1学期の成長」を振り返ってみる

1学期、様々な授業や多くの行事、部活動等を経て皆さんの表情や行動には五所川原高校生としての自覚や自信が見て取れるようになりました。とても頼もしく感じています。皆さんは自分自身の成長をどのように感じているのでしょうか。また、仲間の成長をどのように感じているのでしょうか。2学期を迎えるにあたり「1学期の成長」を振り返ってみてください。ここでは私(学年主任)が1学期見て感じたことをごく一部ですが振り返ってみたいと思います。

HR委員長さんの活躍と機能

初めての高校生活、様々な中学校出身者が集まってスタートした各HR。そんな中で、今年度のクラス役員決めが行われました。まずは、そんな心理的安全性が担保されていない状況の中でHR委員長を引き受けたこと、そして責任を持って役目を果たしてくれたことに対して賞賛の拍手を送りたいと思います。また、リーダーが機能するためにはその集団に所属する一人一人がリーダーシップを持っている必要がありますので、委員長さんと同じ視点で全体を捉えられている人が多かったからこそ各HR委員長さんは役目を果たせたのだと思っています。

文化祭での明るさ

1学年は学校内装飾、校内清掃、駐車場誘導等の裏方業務を担当し、爽やかに業務を遂行しました。また、開祭式では2・3年生に遠慮することなくしっかりと盛り上がっていました。このメリハリ、振れ幅の大きさには皆さんのポテンシャルの高さを感じました。皆さんが1年目から自分らしさを発揮している姿に喜びを感じるとともに、それを受け入れてくれた2・3年生の優しさや懐の深さに感謝しました。ここで受けた先輩からの優しさは、是非、来年度の新入生へ返してください。

立佞武多の裏方さん

初めての立佞武多はどうでしたか。ロータリーを1学年の皆で占拠して踊った時はどんな気分でしたか。例年以上に暑い中、1時間半もの長丁場ではありましたが、声も出ていて素晴らしい運行でした。本当にお疲れ様でした。高欄制作や囃子の練習など人知れず努力してくれた多くの生徒や先生方、ねぶた本体の制作をしてくださったOBの方々、関わってくださった地域の方々、協力してくださった保護者の皆様など、多くの方々に心より感謝したいと思います。また、1学年の曳き手のメンバーは同窓会運行日のボランティアにも快く協力してくれましたし、立佞武多同好会と制作委員の皆さんは山車の移動や撤収のために朝早くから協力してくれました。生徒の皆さんの持つ勢いとボランティア精神に感激した素晴らしいお祭りとなりました。



2学期に実践して欲しいこと、考えて欲しいこと

多様性を認め合い、誰もが過ごしやすい空間をキープして欲しい。

入学当初は誰もが緊張していました

1学期は中学校の時には出会ったことのない多種多様な人々との出会いがあったのではないのでしょうか。考えたことも無いような視点を持っている人、想像を超えた特技を持っている人、自分が考える枠を飛び越えている人・・・などなど、そのような人々が集まって授業や部活動が展開されました。ですから、最初の何週間か何ヶ月間か、人によって期間はまちまちですが、その集団に慣れるまでは周囲の人々に気を遣って緊張感のある生活が続いたはずです。また、様々な人と積極的に関わろうと挑戦していたと思います。

価値観の近い「仲間」が現れ、居心地の良い場所が見つかる

そんな期間を過ごし少し時間が経過すると徐々に周りが見えてきます。クラス内や部活動内において価値観の近い人や何だか話しやすい人が見つかり、仲良くなっていきます。小さな仲良しグループができていく人たちもいるでしょう。実はすでに一生の友人に巡り合っているかもしれません。多くの人がある程度自分らしく過ごせる場所を五所川原高校の中に見つけていったのではないのでしょうか。

仲の良い仲間が見つかったから注意して欲しいこと

仲の良い友人や家族であっても、自分と全く同じ考えを持つ人は世の中に一人もいません。気の合う友人であっても「その考えは嫌だなあ」と感じる部分があって当然です。ましてや自分が所属していない他のグループにはそう感じることも多いでしょう。クラス内や学校が自分らしく過ごせる場所になると、自分の価値観を守るために都合の悪い価値観を排除したくなります。せっかく手に入れた自分らしく過ごせる場所を手放したくない訳ですから当然です。

皆さんの理性と知性で誰もが過ごしやすい学校をキープして欲しい

皆さんの理性と知性は感情やエゴに勝てるはずです。自分にとって完璧に居心地の良い場所は自分以外の人にとって実は居心地の悪い場所なのです。そのことを理解してください。どんなに仲の良い友人同士であっても、また、多数派のグループに所属していたとしても、どんな時も自分（自分たち）が信じる価値観を他者へ押し付けしないでください。入学当初は謙虚にお互いの価値観を尊重し合いながら、配慮し合って過ごしていました。その気持ちを持ち続けてください。多様性を認めるとはその状態だと思っています。少し居心地の悪い部分もありますが、それが他者の居心地の良さに貢献しているのです。皆さんの理性と知性に2学期も期待しています。

デートDVって知ってますか？

恋人のことを、自分のものと思っていませんか。恋人のことを思うとき、幸せな気持ちになりますか？それとも、「自分のことを分かってくれない」などと怒りが沸いてくることがあるですか？好きな人と一緒にいるはずなのに、怒りが止まらなくなつて恋人を責めたり、自分の意見を押しついたりしていませんか。もしそうなら、それは二人の関係がどこかおかしいのかもしれません。

次のQRコードは内閣府男女共同参画局のホームページです。知っている人も知らない人もこれから必要になる情報ですので、目を通してみてください。



恋人同士だって一人一人違う人。似ているところもあれば違うところもある。好きなものが一緒の場合も、違う場合もある。時間の使い方も、人との関係性も、それぞれです。